

2023年9月27日

### 「お客様本位の業務運営に関する方針」への取り組み状況

ナティクシス・インベストメント・マネージャーズ株式会社（以下、「当社」）は、ナティクシス・インベストメント・マネージャーズの日本における営業および運用拠点として、グループの運用会社などの様々な資産運用サービスを日本のお客様に提供しております。

当社は、投資信託や投資一任契約を通じて、お客様の資産運用ニーズにお応えすべく、金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」の原則1に従って、「お客様本位の業務運営に関する方針」を策定・公表し、過去一年間における取り組み状況につき、以下の通り取り纏めましたので、ここに公表致します。

以上

### 取組方針 1「お客様の最善の利益の追求」

- 取組方針
  - 当社は、誠実、公正に業務を行い、お客様との長期的な信頼関係を構築する中で、お客様の資産運用ニーズにお応えするよう努めます。
- 取組状況
  - クライアント・サービス&マーケティング部の各営業チームが週次でミーティングを開催し、お客さまの情報やニーズを緊密に共有することにより、お客様のニーズに対して迅速に協議・対応できる体制を整えております。
  - また、運用部長が月次で開催する運用委員会において、代表取締役と関連部長がお客さまの運用財産の状況をモニターし、お客さまの運用目的に合致した運用状況になっているか等、綿密に検証と議論を行っております。
- 取組状況と金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」との対応関係
  - 原則 2、原則 2（注）

### 取組方針 2「利益相反の適切な管理」

- 取組方針
  - 当社は、[利益相反取引管理方針](#)に基づき、利益相反のおそれのある取引等を把握、管理しております。当社は、ナティクス・グループの一社であり、グループ内の取引等においてもお客様との間で利益相反が発生する可能性があります。そのような場合においても法令等に従い利益相反を適切に管理するよう努めます。
- 取組状況
  - 倫理規程、利益相反管理規程を定め、社内研修等を通じて役職員への周知、徹底を図ることで、利益相反の防止に努めております。
  - コンプライアンス部を利益相反管理統括部署として定め、役職員の有価証券取引、贈答接待等、利益相反の管理やモニタリングも、適宜適切に実施しております。
  - お客様との取引において、利益相反のある可能性がある場合には、その内容や影響を具体的に開示するように努めております。
- 取組状況と金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」との対応関係
  - 原則 3、原則 3（注）、原則 5（注 1）

### 取組方針 3「手数料等の明確化」

- 取組方針

- 当社は、お客様がご負担する手数料について適切に説明、開示しております。また、お客様がご負担する諸費用等についても適切に説明、開示するよう努めます。なお、当社では複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨等はありません。
- 取組状況
  - お客様がご負担する手数料、諸費用等については、プレゼンテーション資料、法定開示書面などにおいて、将来想定される手数料率の変更も含めて分かりやすく明記しております。
  - また、当社のウェブサイトにおいても、「運用報酬等」、「ご負担頂く費用等」については、「ご留意いただきたい事項」として公表しております。
- 取組状況と金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」との対応関係
  - 原則 4、原則 5（注 2）

#### **取組方針 4「重要な情報の分かりやすい提供」**

- 取組方針
  - 当社は、投資対象、投資戦略、投資リスクなどの特性、提供するサービスの内容、手数料や諸費用等の重要な情報について、お客様の誤解がないように適切に説明、開示を行っております。また、運用成績やその要因分析、市場環境などの情報についても提供しております。
- 取組状況
  - 当社のお客様は年金基金、金融機関等の機関投資家に限定されるため、お客様との緊密なコミュニケーションを継続的に図ることで、お客様のニーズをしっかりと把握し、各お客様に応じた説明や資料の提供を適切に行っています。
  - また、運用開始後の運用実績やその要因分析、市場環境などのご説明を目的とする運用報告会用のプレゼンテーション資料においても、クライアント・サービス&マーケティング部のプロダクトチームとクライアント・サービシング・サポートチームが協業して、図表やグラフなどを効果的に用い、レイアウトやデザイン等を継続的に見直すことで、内容をより分かりやすいものとしております。
  - 更に、当社のウェブサイトにおいても、お客様がタイムリーに情報にアクセスしやすくなるよう、動画や主要グループ会社へのリンク、最新のリサーチペーパーへの導線を見直しました。
- 取組状況と金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」との対応関係
  - 原則 4、原則 5、原則 5（注 1）、原則 5（注 3）、原則 5（注 4）、原則 5（注 5）、原則 6（注 1）、原則 6（注 3）、原則 6（注 4）、原則 6（注 5）

#### **取組方針 5「お客様にふさわしいサービスの提供」**

- 取組方針

- 当社は、お客様の個別の資産運用ニーズをおうかがいした上で、グループの運用会社などと協働し、多様な投資対象や投資戦略の中から商品やサービスをご提案しております。
- また商品・サービスご提供後も、運用状況についての定期的なご報告や適宜のご照会へのタイムリーな対応、インベストメント・セミナー等を通じた情報提供等を行うなど、長期的な視点にも配慮した適切なフォローアップを継続的に実施しております。
- 取組状況
  - お客様の資産運用の個別ニーズにお応えすべく、グループの運用会社と協働の上、お客様の目標運用リターン、リスク許容度、コスト、運用開始時期などを勘案したプロダクトを提案するよう努めております。
  - また、お客様の投資に先立ち、投資をご検討頂いている資産クラスや運用戦略へのお客様の適合性を確認すべく、当該資産クラスや運用戦略への投資経験やお客様の全運用資産に対する投資比率を確認しております。
  - 2022年12月6日には、「転換期における効果的な投資戦略～2023年のマクロ/市場見通しと投資戦略」と題したインベストメント・セミナーを対面とオンラインでのハイブリッドで開催いたしました。ここでは、世界的なインフレ、利上げなど経済、市場環境が転換する中、2023年に向けてどのような投資戦略を取るべきか、グループの運用会社4社の運用担当者から詳細に解説させていただきました。
- 取組状況と金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」との対応関係
  - 原則6、原則6（注1）、原則6（注2）、原則6（注3）、原則6（注4）、原則6（注5）

#### 取組方針6「役職員に対する適切な動機づけの枠組み等」

- 取組方針
  - 当社の全役職員は、高い倫理観と責任感を持つプロフェッショナルとしてお客様の最善の利益を追求することの重要性を理解しております。
  - また、当社は、毎年のコンプライアンス研修や、コンプライアンス・マニュアルとコード・オブ・エシックス遵守の宣誓の実施等を通じて、全役職員が高度の専門性と職業倫理を保持し、お客様本位の業務運営が企業文化として定着するよう努めております。
  - さらに、役職員の総合的な評価・報酬決定にあたっては、法令遵守やお客様の利益を重視する企業文化への理解といった観点も盛り込んだプロセスとし、お客様本位の業務運営に係る取り組みを全役職員に浸透させるよう努めております。
- 取組状況
  - 全役職員が E-learning、および、オンラインにて社内研修を受講し、コンプライアンス・マニュアルとコード・オブ・エシックスの遵守を宣誓致しました。

- また、HR One という人事評価プラットフォームを全社に展開し、法令遵守やお客様の利益を重視する企業文化への理解、クロス・フィードバックを含めた各役職員の総合的な評価や報酬決定プロセスを、継続的、かつ、組織的に推進しております。
- 取組状況と金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」との対応関係
  - 原則 2、原則 7、原則 7（注）